

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名 ヒビノ株式会社  
 コード番号 2469 URL <http://www.hibino.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日比野 晃久  
 問合せ先責任者 (役職名) ヒビノGMC経営企画本部長 (氏名) 大関 靖  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

上場取引所 東

TEL 03-3740-4391

平成25年12月9日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,265	10.3	776	49.6	692	57.7	390	95.1
25年3月期第2四半期	7,495	20.0	518	169.2	438	229.2	200	501.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 443百万円 (127.0%) 25年3月期第2四半期 195百万円 (665.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	79.32	78.21
25年3月期第2四半期	40.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第2四半期	14,002		4,420		31.6	
25年3月期	12,828		4,049		31.6	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,420百万円 25年3月期 4,049百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	10.1	1,020	35.0	900	55.9	500	93.9	101.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,049,240 株	25年3月期	5,047,840 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	127,628 株	25年3月期	127,598 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	4,920,351 株	25年3月期2Q	4,927,728 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策及び金融政策等を背景に円安、株高が進行し、景況感は回復しつつあるものの、実体経済への波及には至らず、円安に伴う輸入価格の上昇や消費税増税の動き、海外景気の下振れ懸念等、国内景気を押し下げるリスクが存在することから、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループ(当社及び連結子会社8社)は、中期経営計画「Action 50」の実現に向けた重点施策として、M&A等を活用した事業の補強と拡大に取り組んでおります。「音響」と「映像」、「音楽」、「ライブ」という4つの要素を当社グループの競争力の源泉ととらえ、第1四半期に老舗ライブハウス「ケネディハウス銀座」を運営する株式会社エィティスリーを子会社化したほか、当第2四半期に業務用照明機器の販売を行う株式会社ファーストエンジニアリングを連結子会社化し、顧客基盤の強化及び既存事業とのシナジーによる付加価値の向上を図っております。

当第2四半期連結累計期間は、企業の設備投資や販促投資が戻りつつあるなかで、市場環境は全般的に明るさを増してきております。映像製品の開発・製造・販売事業においてLEDディスプレイ・システムの販売が伸長したことや、コンサート・イベント事業がコンサート案件を中心に好調に推移したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。利益面につきましては、最重要課題であった映像製品の開発・製造・販売事業が黒字転換したことをはじめ、すべての事業が堅調に推移したことから、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同四半期を大きく上回りました。

これらの結果、売上高8,265百万円(前年同四半期比10.3%増)、営業利益776百万円(同49.6%増)、経常利益692百万円(同57.7%増)、四半期純利益390百万円(同95.1%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### [音響機器販売事業]

音響機器販売事業は、予定していた一部の大型案件の検収時期が翌四半期以降となったこと等から売上高は前年同四半期と比べ若干減少しましたが、景気回復と歩調を合わせるように市場は活発化しており、取扱い輸入ブランド商品の販売が好調に推移いたしました。また、昨年末からの円安傾向による仕入価格の上昇に対し、5月より販売価格の改定を実施したことにより、収益に与えるマイナス影響は解消しつつあります。

これらの結果、音響機器販売事業の売上高は2,689百万円(前年同四半期比1.9%減)となりました。

#### [映像製品の開発・製造・販売事業]

映像製品の開発・製造・販売事業は、新興国製LEDディスプレイ・システムの台頭による競争激化など予断を許さない状況に変わりはありませんが、顧客企業の設備投資に持ち直しの動きがあり、一部に明るさも見えてまいりました。日本屈指の屋外広告の集積地である渋谷駅ハチ公口交差点前「QFRONT」ビル壁面に国内最大級の街頭ビジョンを納入したほか、自動車メーカーのショールームやロードサイドボード(主要幹線道路沿いに設置される広告看板)向けにLEDディスプレイ・システムを納入いたしました。大型案件を複数受注したことにより、前年同四半期から大幅な増収となり、営業黒字化を達成いたしました。

これらの結果、映像製品の開発・製造・販売事業の売上高は846百万円(前年同四半期比93.9%増)となりました。

#### [コンサート・イベント事業]

コンサート・イベント事業は、コンサート市場を中心に引き続き好調さを堅持しており、人気アーティストの大型コンサートツアーを多数獲得いたしました。特にコンサートにおける映像演出は、多様化かつ大画面化の流れが加速しており、一案件当たりの受注規模も拡大の一途を辿っております。さらに、上海モーターショーをはじめとした大型案件の獲得や、前連結会計年度より連結子会社となった株式会社ベスコの業績貢献により、対前年同四半期比で増収増益となりました。

これらの結果、コンサート・イベント事業の売上高は4,598百万円(前年同四半期比6.5%増)となりました。

#### [その他の事業]

その他の事業の売上高は130百万円(前年同四半期は、売上高はありませんでした)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は14,002百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,173百万円増加しました。これは商品及び製品、仕掛品、機械装置及び運搬具、リース資産及びその他有形固定資産が増加したことが主な要因であります。

負債合計は9,582百万円となり、前連結会計年度末と比べて802百万円増加しました。これは短期借入金、未払法人税等、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)及びリース債務が増加したことが主な要因であります。

純資産合計は4,420百万円となり、前連結会計年度末と比べて371百万円増加しました。これは利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの業績が好調に推移しており、第3四半期以降も着実な案件の積上げが見込めることから、売上高16,700百万円(前連結会計年度比10.1%増)、営業利益1,020百万円(同35.0%増)、経常利益900百万円(同55.9%増)、当期純利益500百万円(同93.9%増)と修正いたしました。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,442,246	1,412,917
受取手形及び売掛金	3,185,767	3,275,985
商品及び製品	1,371,002	1,490,654
仕掛品	168,688	436,451
原材料及び貯蔵品	207,076	183,490
その他	664,361	759,413
貸倒引当金	△26,830	△36,438
流動資産合計	7,012,313	7,522,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,257,433	1,277,514
減価償却累計額	△776,631	△797,762
建物及び構築物(純額)	480,801	479,752
機械装置及び運搬具	6,251,316	6,300,155
減価償却累計額	△4,657,794	△4,463,048
機械装置及び運搬具(純額)	1,593,522	1,837,107
工具、器具及び備品	774,293	787,629
減価償却累計額	△620,688	△636,458
工具、器具及び備品(純額)	153,604	151,170
リース資産	2,361,606	2,717,479
減価償却累計額	△1,050,240	△1,207,839
リース資産(純額)	1,311,365	1,509,640
その他	520,057	799,658
有形固定資産合計	4,059,351	4,777,329
無形固定資産		
のれん	94,803	81,159
その他	58,978	52,810
無形固定資産合計	153,782	133,969
投資その他の資産		
その他	1,786,638	1,749,439
貸倒引当金	△183,262	△180,997
投資その他の資産合計	1,603,375	1,568,442
固定資産合計	5,816,509	6,479,741
資産合計	12,828,822	14,002,216

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	791,188	838,766
短期借入金	1,230,000	1,430,000
1年内返済予定の長期借入金	1,172,126	1,231,492
リース債務	427,405	482,247
未払法人税等	192,382	317,086
賞与引当金	326,549	348,538
その他	796,575	817,465
流動負債合計	4,936,227	5,465,596
固定負債		
長期借入金	1,947,878	2,083,254
リース債務	991,740	1,113,118
退職給付引当金	827,785	843,964
資産除去債務	13,685	13,761
その他	62,329	62,329
固定負債合計	3,843,419	4,116,427
負債合計	8,779,646	9,582,024
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,721,487	1,721,935
資本剰余金	2,074,601	2,075,049
利益剰余金	416,828	733,314
自己株式	△76,889	△76,911
株主資本合計	4,136,027	4,453,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,595	13,930
繰延ヘッジ損益	293	△1,085
為替換算調整勘定	△97,740	△46,041
その他の包括利益累計額合計	△86,851	△33,195
純資産合計	4,049,176	4,420,191
負債純資産合計	12,828,822	14,002,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,495,135	8,265,820
売上原価	4,920,263	5,289,570
売上総利益	2,574,871	2,976,249
販売費及び一般管理費	2,055,966	2,199,915
営業利益	518,905	776,334
営業外収益		
受取利息	470	635
受取配当金	1,269	2,061
仕入割引	4,527	4,981
受取保険金	1,402	3,479
その他	8,374	5,795
営業外収益合計	16,043	16,954
営業外費用		
支払利息	58,175	60,272
持分法による投資損失	25,911	28,977
為替差損	2,850	6,690
その他	9,068	4,983
営業外費用合計	96,006	100,923
経常利益	438,943	692,365
特別損失		
固定資産売却損	28,798	—
代理店契約解約損	19,194	—
特別損失合計	47,992	—
税金等調整前四半期純利益	390,950	692,365
法人税等	190,913	302,075
少数株主損益調整前四半期純利益	200,037	390,289
四半期純利益	200,037	390,289



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	200,037	390,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,094	3,340
繰延ヘッジ損益	1,632	△1,378
為替換算調整勘定	△3,329	51,699
持分法適用会社に対する持分相当額	△633	△5
その他の包括利益合計	△4,424	53,656
四半期包括利益	195,612	443,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	195,612	443,945

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。